

はじめに

漢方の勉強をはじめて30年が経ちました。はじめの頃は初心者向けのやさしい入門書はなく、古典解説書を読むかセミナーで講師の説明をメモするしかありませんでした。徐々に漢方エキス剤を処方する機会も増え、さまざまな疾患に漢方薬を応用するようになりましたが、期待したほど効果が得られず対応に難渋することも少なくありませんでした。漢方薬の基本は煎じ薬で過去の報告は煎じ薬によるものがほとんどです。同じ名前のエキス剤を使用しても報告と同様の効果は得られないこともあります。煎じ薬と漢方エキス剤はそのまま同じ効果が得られるものではないと考えるようになりました。かといって煎じ薬を処方するのは簡単ではないため、エキス剤で同等の効果を発揮できないものかと思案するようになりました。

漢方エキス剤をさまざまな疾患に応用しようとすると、メーカーごとの適応症の違いや用量の違いなどに戸惑うことも多くなり、添付文書で用量や保険適用病名を確認することは忙しい外来診療では難しいものでした。

今回羊土社から漢方薬について執筆のお話をいただいた際に、臨床の現場で自分自身が使いたい内容を一冊にまとめたいと考えました。臨床においてさまざまな疾患に応用するためには保険適用病名も重要で、本書では主要な漢方メーカーであるツムラ・クラシエ・コタローの用量とその保険適用病名を掲載しました。また、できるだけ効果を実感できるような工夫（併用などの処方例）や注意事項をTipsにまとめました。

本書が、漢方エキス剤を処方する多くの先生に漢方薬の効果を実感していただく一助となり、皆様の臨床に少しでもお役に立てるこことを祈念いたします。

最後に書籍化に向け、企画段階からご協力いただいた羊土社の大家有紀子様、阿部壮岐様に深謝いたします。

2023年3月

医療法人安斎外科胃腸科医院

安斎圭一